

中心フリッカ値測定装置

ハンディフリッカHF-III

Critical Fusion Frequency

視神経疾患の早期発見



人間工学に基づいた
エルゴノミックデザイン

- 片手で簡単に検査ができる操作性に優れた製品です。
- 操作ボタン、周波数表示を一面に配し、検者は操作部を注目するだけです。
- 大型デジタル表示により周波数確認が楽に行えます。

目的別測定

CFF検査（中心フリッカ試験）

比較暗室内で視神経疾患の患者のために行う片眼固視による検査。

色フリッカ値による眼精疲労の定量的判定

比較暗室内で片眼または両眼固視による検査。

特長

- 周波数（Hz値）の上下移動は上昇法、降下法いずれの方法にも対応可能です。（1Hzきざみ連続送り）
- 網膜に対し、常に2°の光刺激が与えられるよう一定の距離を保つため、被検眼と視標間を25cmに測定できるようにコードにマークがあります。
- 視標には発光ダイオードを採用し、常に一定の輝度を保ちます。
- 電源には単4アルカリ電池、ACアダプタが選択できます。ベッドサイドでの測定も可能で被検者の測定姿勢は問いません。
- 検査管理に便利な検査用紙が標準付属品です。



（写真は電源入力時）

仕様

本体部（操作部）

電 源：単4アルカリ電池2本またはAC100-240V 50/60 Hz 4VA(ACアダプタ使用時)

周 波 数：1～79 Hz 1Hzステップ

周波数設定：押しボタンによるUP/DOWN方式
ステップ送り、連続送り可能

周波数精度：各設定値に対し、0.01%以下

パルスDUTY比：50%矩形波

二重閃光：押しボタンにより可能

標準輝度安定度：10%以下（残量ランプ点灯まで）電池残量が残りわずかになると残量ランプ（橙色）が点灯

寸法及び質量：58mm(D)×57mm(W)×170mm(H)、240g

視標部

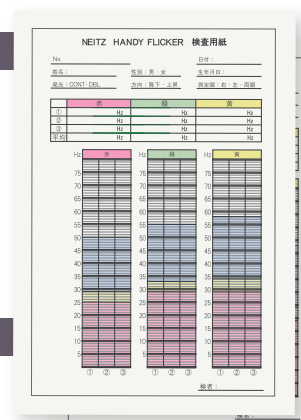
視 標：発光ダイオード 主波長 赤（R）660 nm
緑（G）555 nm
黄（Y）570 nm

視標サイズ：Φ8.7mm

寸法及び質量：76mm(D)×70mm(W)×37mm(H)、145g

付属品

検査用紙（50枚一冊）



製造販売届出番号：13B2X00131820001 一般医療機器 JMDN70091000

NEITZ
Made by Neitz for Your Medical Field

株式会社ナイツ

〒102-0082 東京都千代田区一番町15-21 一番町コート4階

TEL 03-3237-0551 FAX 03-3237-0554

<https://www.neitz.co.jp/>



代理店